

育成会めぐみ保育園の保護者の皆様へ

2023年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

「チャレンジテーマ」は理念である「ひとつの家族」を目指す原動力となっています

職員の成長を支える制度として、年度初めに一人ひとりが挑戦する目標「チャレンジテーマ」を決め、全員の目標を事務室に一覧表にして掲示し、職員間でも確認ができます。その後、年間3回のフロア主任や園長との面談で、アドバイスを受けながら目標達成を目指しています。従来「チャレンジテーマ」は個人のスキルアップを目標にすることが多い傾向ありましたが、最近は園全体に目を向けたテーマを掲げる職員が増えてきており、大規模園として職員が協力し合い、チーム保育により理念である「ひとつの大家族」を目指す原動力となっています。

戸外遊びや食育活動を通じて季節を感じる事ができる環境が園周辺にあります

広々として日当たりの良い園庭では、ダンゴムシやアリ、カナヘビなどの生き物や草花を親しむことができます。暑い時期を除いて、涼しくなった秋には近隣の公園に散歩に行き、落ち葉拾いなどをしたり、バスで運営法人所有の畑に行き、さつまいも、みかん、栗などの果物や野菜の収穫体験をしています。給食の献立は季節の食材を使っており、食育活動で使用する食材としてきゅうり、枝豆、ピーマン、ズッキーニ、福耳とうがらしなどの野菜も育てています。これらの活動を通じて、季節の移り変わりを子どもたちは体験し、製作活動にも反映されています。

職員の安全に対する意識と理解度は非常に高く、安全な環境構築を目指しています

今年度安全計画を策定し実践しています。従来は別々に策定していた計画を一本化し、内容は園内外の安全点検実施計画、マニュアルの見直し時期の明示、利用者への安全指導、訓練、職員研修への取り組み、再発防止の徹底などが明記されています。毎月テーマを決め、例えば地域警察署の交通安全指導を実施し、早番時や遅番時を想定した実践的な避難訓練などを行っています。全職員は普通救命技能講習を受講し認定証を取得しています。職員の安全に対する意識と理解度は非常に高く、安全な環境を目指しています。

さらなる取り組みが期待される点

3～5か年の独立した中期計画を策定し、対策をより具体的に明示していく事を期待します

中期計画は理念実現に向けた課題を複数年かけてどのように解決していくのか、その筋書であり毎年策定する単年度事業計画の基本となります。園は令和5年からの5か年計画として、保育内容、地域との関わりなどの6項目を重点目標とし単年度計画の中に記載していますが、現状は目指していく達成指標の記述がやや不足しています。環境変化など経営に大きな影響が生じる場合は修正が可能ですので、現状の5か年計画(中期計画)の各項目の取り組み内容と期間、達成指標をより具体的に示し、独立した3～5か年の中期計画を策定する事を期待します。

異年齢の集団で過ごす時間をさらに増やす事で、子どもの心の成長にもつながっていくでしょう

早朝・夕刻保育や園庭での自由遊びの時間に異年齢で過ごすほか、3～5歳児の混合グループでの活動も年に数回行っています。今後は異年齢で過ごす機会や時間をさらに増やすことによって、本園の理念の「大家族」を160人という定員数の大きさだけでなく、異年齢から受ける刺激により具体化できると考えられます。例えば給食の時間であったり、各種の行事においてもクラスを超えて異年齢で協力し合うなど同じ時間を過ごすことにより、年上の子どもが年下のお世話をしたり、年下の子どもが年上を慕ったりする場面が増えることが期待できます。

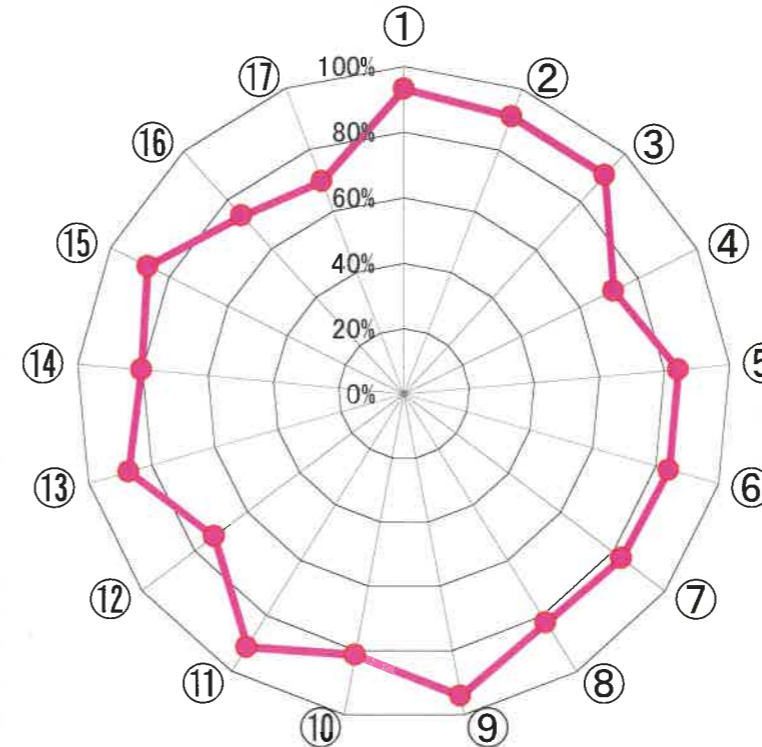
ハラスメント委員会への相談を参考にし、研修会等での話し合いを増やしていくと良いでしょう

職員の不適切な言動に対しては、マニュアルを整備し研修の実施や職員からの相談ボックスを設置するなど、職員間で指摘できる体制を作っています。特に今年度はハラスメント対策委員会を設置し、不適切な言動を感じた場合の相談窓口にもなり、防止体制は従来より充実しています。不適切な言動防止のためには、職員一人ひとりの意識を高める事が必須です。委員会への相談を事例として研修会や職員会議での話し合いを増やしてはいかかでしょうか。意識を高めより働きやすい職場になるよう委員会活動の充実を期待します。

利用者アンケート結果概要

実施期間：2023年9月19日(火)～2023年10月10日(火) 回収率：82.9%

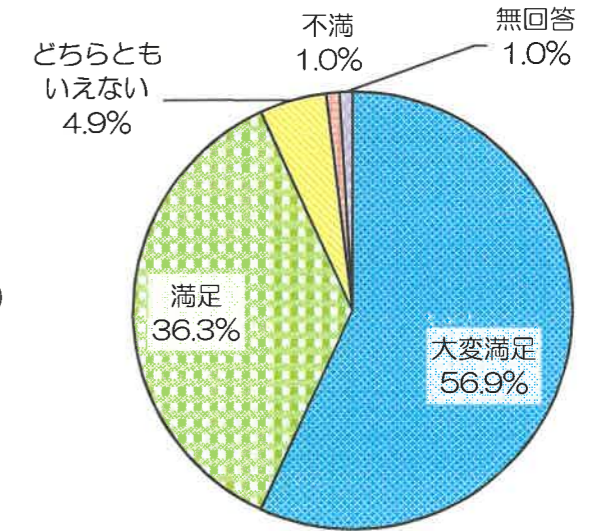
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。(福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます)
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

利用者アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの結果をしっかりと受け止め、皆様方のご意見を一つひとつ検討し、より良い保育の質の向上に努めてまいりたいと思います。

「めぐみ保育園はひとつの大家族」の保育理念の通りこれからも子ども一人ひとりを大切に、保護者と地域の方々との信頼関係を深めていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

